

## 麻酔・蘇生科学分野

### A 欧文

#### A-a

1. Tsurunaga Y, Tosaka S, Tosaka R, Miyoshi H, Maekawa T, Cho S, Sumikawa K: Olprinone, a phosphodiesterase type III inhibitor, has pharmacological preconditioning properties against renal and heart ischemia-reperfusion injury. *Anesthesia and Resuscitation* 49(3): 75-79, 2013
2. Shibata I, Cho S, Yoshitomi O, Ureshino H, Maekawa T, Hara T, Sumikawa K: Milrinone and levosimendan administered after reperfusion improve myocardial stunning in swine. *Scandinavian Cardiovascular Journal* 47(1): 50-57, 2013 (IF: 0.819)
3. Oji M, Terao Y, Toyoda T, Kuriyama T, Miura K, Fukusaki M, Sumikawa K: Differential effects of propofol and sevoflurane on QT interval during anesthetic induction. *J Clin Monit Comput* 27(3): 243-248, 2013 (IF: 0.709)
4. Toyoda T, Terao Y, Oji M, Okada M, Fukusaki M, Sumikawa K: The interaction of antiemetic dose of droperidol with propofol on QT interval during anesthetic induction. *J Anesth* 27(6): 885-889, 2013 (IF: 0.867)
5. Use T, Sakai T, Shimamoto H, Fukano T, Sumikawa T: Early and late postoperative pain and side effects after mastectomy: a Comparison of ketamine and thiamylal administered for anesthetic induction. *Open J Anesthesiology* 3(3):189-192, 2013
6. Murata H, Salviz EA, Chen S, Vandepitte C, Hadzic A: Ultrasound-guided continuous thoracic paravertebral block for outpatient acute pain management of multilevel unilateral rib fractures. *Anesth Analg* 116(1): 255-257, 2013 (IF: 3.300)
7. Vandepitte C, Gautier P, Murata H, Salviz EA, Hadzic A: Use of ultrasound-guided intercostal nerve block as a sole anaesthetic technique in a high-risk patient with Duchenne muscular dystrophy. *Acta Anaesthesiologica Belgica* 64(2): 91-94, 2013

#### A-e

1. Sakai A, Fukusaki M, Araki H, Terao Y, Sumikawa K: The efficacy of levobupivacaine for epidural block in elderly outpatients with degenerative spinal disease. *Eur J Anaesthesiol* 30: (Supplement) A206, 2013
2. Matsumoto S, Terao Y, Sakai A, Araki H, Okada M, Fukusaki M, Sumikawa K: Prognostic value of brain natriuretic peptide in aged patients undergoing hip fracture surgery. *Anesthesiology* 114: (Supplement) FA A1307, 2013
3. Ishizaki H, Terao Y, Matsumoto S, Sakai A, Egashira T, Fukusaki M, Sumikawa K: Analysis of the factors of successful results of helmet noninvasive positive pressure ventilation. *Anesthesiology* 114: (Supplement) FA A3204, 2013
4. Kushimoto S, Endo T, Yamanouchi S, Sakamoto T, Ishikura H, Kitazawa Y, Taira Y, Okuchi K, Tagami T, Watanabe A, Yamaguchi J, Yoshikawa K, Sugita M, Kase Y, Kanemura T, Takahashi H, Kuroki Y, Izumino H, Rinka H, Seo R, Takatori M, Kaneko T, Nakamura T, Irahara T, Saito N, the PiCCO Pulmonary Edema Study Group: Relationship between extravascular lung water and severity categories of acute respiratory distress syndrome by the Berlin definition. *Critical Care* 17: (Supplement) R132, 2013
5. Terao Y, Matsumoto S, Sakai A, Okada M, Fukusaki M, Sumikawa K: A comparison of the predictive accuracy of the perioperative major adverse cardiac events between brain natriuretic peptide and microalbuminuria in elderly patients undergoing hip fracture surgery. *Intensive Care Medicine* 39 (Supplement) 0291, 2013

### B 邦文

#### B-a

1. 大路牧人, 寺尾嘉彰, 一ノ宮大雅, 三浦耕資, 福崎 誠, 澄川耕二: くも膜下出血患者における術前脳脊髄液中 S100 $\beta$  蛋白と神経学的予後の関連性の検討. *日本集中治療医学会雑誌* 20: 608-613, 2013
2. 松本聡治朗, 寺尾嘉彰, 酒井亜輝子, 荒木博子, 岡田真依, 福崎誠: 非骨傷性頸髄損傷後に急性縦隔炎を来した第 8 頸髄以下の麻痺を生じた 1 例. *日本集中治療医学会雑誌* 20: 651-652, 2013
3. 関野元裕, 一ノ宮大雅, 東島 潮, 吉富 修, 中村利秋, 古本朗嗣, 榎田徹次, 澄川耕二: 高度の血管内容血を併発した *Clostridium perfringens* septicemia の一救命例. *日本集中治療医学会雑誌* 20: 38-42, 2013
4. 安藝敬生, 樋口則英, 中川博雄, 中村忠博, 田崎 修, 榎田徹次, 北原隆志, 佐々木 均: 救急・集中治療におけるバンコマイシン (VCM) 血中濃度管理への専任薬剤師の関与. *日本臨床救急医学会雑誌* 16: 565-569, 2013
5. 境 徹也, 澄川耕二: 排膿散及湯で改善した顔面の移動性難治性潰瘍による下顎部痛の 1 症例. *痛みと漢方* 23: 94-96, 2013
6. 樋田久美子, 境 徹也, 澄川耕二: 神経線維腫症 I 型の眼球痛に対して加味逍遙散が有効であった 1 症例. *痛みと漢方* 23: 91-93, 2013
7. 境 徹也, 澄川耕二: ガバペンチンにより軽減した薬物乱用頭痛の 1 症例. *日本ペインクリニック学会誌* 20: 24-27, 2013
8. 岡田真依, 原 哲也, 趙 成三, 澄川耕二: レミフェンタニルを用いた麻酔管理において短時間作用型  $\beta$  遮断薬を必要とする因子の検討. *麻酔* 62(9): 1112-1116, 2013
9. 有吉貴美代, 北原隆志, 龍 恵美, 高田正史, 宗像千恵, 能勢誠一, 宮永 圭, 樋口則英, 北條美能留, 佐々木均: 徐放性オキシコドン導入時の嘔気・嘔吐における患者リスク因子に関する検討. *医療薬学* 39(3): 134-139, 2013

#### B-b

1. 原 哲也, 澄川耕二: 心臓手術における心筋保護. *Cardiovascular Anesthesia* 17: 127-131, 2013

2. 原 哲也：血管拡張薬・冠血管拡張薬. 麻酔・全身管理で使用される薬物の基礎知識と使用法. レジデント 6: 61-70, 2013
3. 原 哲也：冠攣縮と麻酔. LiSA 20: 748-752, 2013
4. 藤田靖子, 長谷敦子, 田崎 修：輸血療法開始の基準. 救急医学 37(12): 1693-1697, 2013
5. 山下和範, 長谷敦子, 田崎 修：DMAT 教育. 蘇生 32(2): 88-90, 2013

#### B-c

1. 澄川耕二：麻酔と心機能. (天羽敬祐監修：麻酔科学レビュー, 総合医学社, 東京, pp. 10-15 所収) 2013
2. 原 哲也：麻酔薬の臓器保護作用. (天羽敬祐監修：麻酔科学レビュー, 総合医学社, 東京, pp. 46-51 所収) 2013
3. 趙 成三：III. 心血管作動薬の使用法 8. アルプロスタジルアルファデクス. (—For Professional Anesthesiologists—心血管作動薬 土田英昭編, 克誠堂出版, 東京, pp. 196-203 所収) 2013
4. 趙 成三：III. 心血管作動薬の使用法 9. ホスホジエステラーゼ阻害薬. (—For Professional Anesthesiologists—心血管作動薬 土田英昭編, 克誠堂出版, 東京, pp. 204-219 所収) 2013
5. 村田寛明：超音波ガイド下末梢神経ブロック実践 24 症例. (MEDSi, 東京, pp. 95-99 所収) 2013

#### B-d

1. 村田寛明, 村上優子, 須藤結香, 村上敏史, 北條美能留, 高田正史, 倉田眞治, 澄川耕二, 上園保仁：すぐれた鎮痛効果を持ちかつ耐性形成を回避する新規モルヒネ髄腔内投与法の開発. 臨床薬理の進歩 34: 78-85, 2013

#### B-e

1. 前川拓治, 一ノ宮大雅, 吉富 修, 北條美能留, 趙 成三, 澄川耕二：生体肝移植術中の凝固能モニタリング-ROTEM と一般凝固検査の比較-. 麻酔 62: 166, 2013
2. 松本聡治朗, 寺尾嘉彰, 酒井亜輝子, 荒木博子, 岡田真依, 福崎 誠：高齢の大腿骨頸部骨折患者における周術期心合併症および長期予後の予測因子としての脳性利尿ペプチドの検討. 麻酔 62: 148, 2013
3. 荒木 寛, 西岡健治, 趙 成三, 澄川耕二：声門マーカーを指標とした気管チューブ固定の問題点. 麻酔 62: 79, 2013
4. 矢野倫太郎, 卜部繁彦, 浦松可奈子, 前川拓治, 趙 成三：当院における帝王切開術の麻酔法選択と胎児娩出までの時間の検討. 日本臨床麻酔学会誌 33(6): S364, 2013
5. 小柳 幸, 岡田真依, 稲富千亜紀, 穂山大治, 前川拓治：慢性期高位脊髄損傷患者に対する経尿道的膀胱碎石術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会誌 33(6): S215, 2013
6. 貞松茉莉, 一ノ宮大雅, 原 哲也：心臓血管系への浸潤を伴う巨大縦隔腫瘍摘出術の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会誌 33(6): S261, 2013
7. 高松渥子, 諸岡秋葉, 柴田伊津子, 趙 成三, 原 哲也：術中冠攣縮による心停止をきたした縦隔腫瘍摘出術の一症例. 日本臨床麻酔学会誌 33(6): S379, 2013
8. 柴田伊津子, 荒木博子, 吉富 修, 趙 成三, 澄川耕二：血管内留置となった硬膜外チューブの抜去後に硬膜外血腫を認めた一例. 日本臨床麻酔学会誌 33(6): S359, 2013
9. 酒井亜輝子, 福崎 誠, 松本聡治朗, 石崎泰令, 江頭 崇, 谷口美和, 寺尾嘉彰, 澄川耕二：外来での高齢脊椎変性疾患におけるレボブピバカインを用いた硬膜外ブロック効果の検討. 日本臨床麻酔学会誌 33(6): S313, 2013
10. 大路牧人, 境 徹也, 澄川耕二：当院における三叉神経節高周波熱凝固法 18 症例の施行間隔についての検討. 日本臨床麻酔学会誌 33(6): S312, 2013
11. 荒木 寛, 趙 成三, 山下和範, 長谷敦子, 澄川耕二：当院における予期せぬ死亡症例の検討. 蘇生 32(3): 186, 2013
12. 村田寛明, 荒木 寛, 趙 成三, 澄川耕二：全身麻酔中に急性冠症候群を生じた 1 症例. 蘇生 32(3): 191, 2013
13. 趙 成三, 荒木 寛, 村田寛明, 澄川耕二：胸部下行大動脈瘤に対するステント内挿術中に生じた Kounis 症候群の一例. 蘇生 32(3): 177, 2013
14. 村田寛明：超音波ガイド下腕神経叢ブロックをより安全に行うために必要な血管についての知識. 日本ペインクリニック学会誌 20(3): 293, 2013
15. 境 徹也：CRPS と詐病・虚偽性障害. 日本ペインクリニック学会誌 20(3): 276-277, 2013
16. 大路牧人, 境 徹也, 田中絵里子, 澄川耕二：メトロニダゾールによる薬剤性末梢神経障害に対して薬物療法を行った 1 症例. 日本ペインクリニック学会誌 20(3): 120, 2013
17. 田中絵里子, 大路牧人, 境 徹也, 澄川耕二：バクロフェンが有効であった症候性三叉神経痛の症例. 日本ペインクリニック学会誌 20(3): 119, 2013
18. 岡田真依, 一ノ宮大雅, 柴田伊津子, 趙 成三, 澄川耕二：人工心肺下心臓手術におけるトラネキサム酸の至適投与量の検討. Cardiovascular Anesthesia 17 Suppl. 205, 2013
19. 東島 潮, 石井浩二, 松本周平, 関野元裕, 中村利秋, 榎田徹次, 澄川耕二：外科的介入により救命し得た肺化膿症の 2 症例. 日本集中治療医学会雑誌 20 Suppl. 414, 2013
20. 寺尾嘉彰, 松本聡治朗, 酒井亜輝子, 石崎泰令, 福崎 誠, 澄川耕二：大腿骨頸部骨折患者における周術期心合併症の予測因子としての脳性利尿ペプチドと尿中微量アルブミンの比較. 日本集中治療医学会雑誌 20 Suppl. 379, 2013

21. 石井浩二, 松尾久美, 中嶋由紀子, 北條美能留: 当院におけるオキシコドン注射剤の使用実績. 死の臨床 36(2): 307, 2013
22. 松尾久美, 池田津奈子, 龍 恵美, 山田万紀子, 米山久美, 磯部美穂, 井川 掌, 竹原浩介, 出口雅浩, 船本太栄子, 北條美能留: 進行がん患者のリンパ浮腫治療がQOL向上につながった1事例. ホスピスケアと在宅ケア 21(2): 227, 2013
23. 池田津奈子, 松尾久美, 中嶋由紀子, 龍 恵美, 木下裕久, 石井浩二, 北條美能留: 当院緩和ケアチーム紹介患者のアウトカム分析及び変化要因の検討. ホスピスケアと在宅ケア 21(2): 223, 2013
24. 山下和範, 平尾朋仁, 猪熊孝実, 田島吾郎, 山野修平, 泉野浩生, 長谷敦子, 田崎 修: セーフティネットとしての災害医療 学生から院外医療スタッフを対象とした災害医療教育. 日本救急医学会雑誌 24(8): 534, 2013

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	5	1	1	32

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
原哲也・教授	評議員	日本心臓血管麻酔学会
原哲也・教授	学術集会査読委員	日本麻酔科学会
原哲也・教授	査読委員	Journal of Anesthesia
原哲也・教授	査読委員	Cardiovascular Anesthesia
原哲也・教授	査読委員	Journal of Physiological Sciences
原哲也・教授	学術集会査読委員	International Anesthesia Research Society
原哲也・教授	気管挿管実習検討委員会	長崎県メディカルコントロール協議会
柴田治・准教授	幹事	全国国立大学病院手術部会議
長谷敦子・准教授	長崎県医師会災害救急委員会委員	長崎県医師会
長谷敦子・准教授	長崎県メディカルコントロール協議会委員	長崎県
長谷敦子・准教授	長崎地域メディカルコントロール協議会副会長	長崎県、長崎市
長谷敦子・准教授	長崎地域メディカルコントロール協議会検証医	長崎県、長崎市
長谷敦子・准教授	長崎市地域保険医療対策協議会委員	長崎県
長谷敦子・准教授	長崎県救急医療情報システム検討委員会委員	長崎県
長谷敦子・准教授	女性医師の労働・環境問題検討委員会委員	全国医学部長病院長会議
長谷敦子・准教授	長崎県緊急被爆医療ネットワーク検討会委員	長崎県
長谷敦子・准教授	消防職員 救急科講師	長崎県消防学校
槇田徹次・准教授	評議員	日本集中治療医学会
槇田徹次・准教授	評議員	日本集中治療医学会九州地方会
槇田徹次・准教授	査読委員	日本集中治療医学会雑誌
槇田徹次・准教授	非常勤講師	日本赤十字九州国際看護大学
槇田徹次・准教授	代議員	日本麻酔科学会
趙成三・講師	Journal of anesthesia reviewer	Journal of anesthesia
趙成三・講師	Editorial Board Member	ISRN anesthesiology
趙成三・講師	Editorial Board Member	Edorium Journal of Anesthesia

趙成三・講師	Editorial Board Member	BioMed Research International
趙成三・講師	学術集会実行委員会 第6救急・ICU ワーキングサテライトメンバー	日本麻酔科学会
北條美能留・助教	長崎県保健医療対策協議会がん対策部会 委員	長崎県
北條美能留・助教	長崎県保健医療対策協議会がん対策部会緩和ケア医師研修委員会 委員	長崎県
北條美能留・助教	質の高い看護師育成事業（がん分野）	長崎県
北條美能留・助教	緩和医療ガイドライン委員会 がん疼痛薬物療法ガイドライン改訂 WG員	日本緩和医療学会
北條美能留・助教	代議員	日本緩和医療学会
北條美能留・助教	学術集会運営専門部会サテライトメンバー	日本麻酔科学会
北條美能留・助教	長崎県緩和ケア研修会 企画責任者	長崎県
吉富修・助教	長崎県医療ガス保安講習会講師	長崎県
境徹也・助教	査読委員	Journal of Clinical Anesthesia
境徹也・助教	査読委員	Pain Medicine
境徹也・助教	査読委員	Journal of Anesthesia
境徹也・助教	ペイン・緩和ワーキンググループサテライトメンバー	日本麻酔科学会
境徹也・助教	インターベンショナル治療ガイドライン作成委員	日本ペインクリニック学会
境徹也・助教	非常勤講師	長崎大学歯学部
山下和範・助教	長崎地域メディカルコントロール協議会委員	長崎市
山下和範・助教	評議員	日本集団災害医学会
村田寛明・助教	インターベンショナル痛みの治療ガイドライン作成チーム	日本ペインクリニック学会
村田寛明・助教	Regional Anesthesia Workshop Instructor	NWAC World Anesthesia Convention 2013
村田寛明・助教	超音波ガイド下神経ブロックハンズオンワークショップ 講師	日本臨床麻酔学会第33回大会
村田寛明・助教	Scientific Committee Member	NWAC World Anesthesia Convention 2014
村田寛明・助教	査読委員	Clinical Anatomy

## 競争的研究資金獲得状況

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
原 哲也・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) ストレス誘導性コンディショニングの探索：高炭酸ガス血症の効果
趙 成三・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 非アルコール性脂肪肝炎に対する麻酔薬の肝虚血保護法の検討：糖尿病薬との相互作用
前川拓治・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) ブタ希釈性凝固障害モデルにおける ROTEM ガイド下凝固管理法の開発
北條美能留・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) オピオイドおよびカナビノイドと二量体化受容体の相互作用の分子機構の解明
三好 宏・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C)

			水素の腎虚血再灌流障害に対する腎保護効果とその分子生物学的機序の解明
柴田伊津子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 心筋の虚血再灌流障害における Rho キナーゼの役割解明と制御
西岡健治・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 気道過敏性に対する麻酔薬の作用解析—強制オシレーション法を用いて
村田寛明・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 二量体化オピオイド受容体の多様性に立脚したオピオイド鎮痛法確立とその最適化
稲富千亜紀・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) グルタレドキシンによる酸化還元制御心筋細胞における抗アポトーシス効果の解析
関野元裕・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 敗血症における微小循環の病態解明:腸管血流と舌下血流の関連性
松本周平・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 心筋薬理学的コンディショニング修飾因子の解明:pH 補正の影響と分子機序
東島 潮・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 冠虚血危険因子による心筋コンディショニング阻害の分子機序とその制御
石井浩二・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 核蛋白Ki67 を指標とした喘息患者における気道リモデリングの機序の解明
一ノ宮大雅・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 抑うつ状態における心筋保護機構阻害因子の解明とその制御

○特筆すべき事項

- ①戸坂真也・助教 第34回日本循環制御医学会総会会長賞